

2018年4月18日  
株式会社日本政策金融公庫  
総合研究所

## 全国小企業月次動向調査(2018年3月実績、4月見通し)

[概況] 小企業の売上DIは、マイナス幅が縮小  
～4月もマイナス幅が縮小する見通し～

### 1 売上

2018年3月の売上DIは、2月(▲12.7)からマイナス幅が6.2ポイント縮小し、▲6.5となった。4月は、▲2.5とマイナス幅がさらに縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲21.1→▲9.0)、非製造業(▲13.1→▲5.7)ともにマイナス幅が縮小した。4月は、製造業で▲8.2、非製造業で▲0.9と、ともにマイナス幅がさらに縮小する見通しとなっている。

### 2 採算

2018年3月の採算DIは、2月(0.7)から5.1ポイント上昇し、5.8となった。4月は、12.2とさらに上昇する見通しとなっている。

### 3 設備投資

2017年度下半期(10月～翌年3月)に設備投資を実施した企業割合は、22.7%と2016年度下半期(22.4%)に比べて0.3ポイント上昇した。2018年度上半期(4月～9月)の設備投資実施予定企業割合は、14.6%と2017年度上半期の実施予定企業割合(14.9%)から低下している。

<調査の要領> 調査時点 2018年4月2日～4日  
調査対象 当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおり)  
有効回答企業数 1,286企業  
回答率 85.7%

#### <お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:長沼、中谷)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製 造 業（従業者 20 人未満）

卸 売 業（ 同 10 人未満）

小 売 業（ 同 10 人未満）

飲 食 店（ 同 10 人未満）

サービス業（ 同 20 人未満）

建 設 業（ 同 20 人未満）

運 輸 業（ 同 20 人未満）

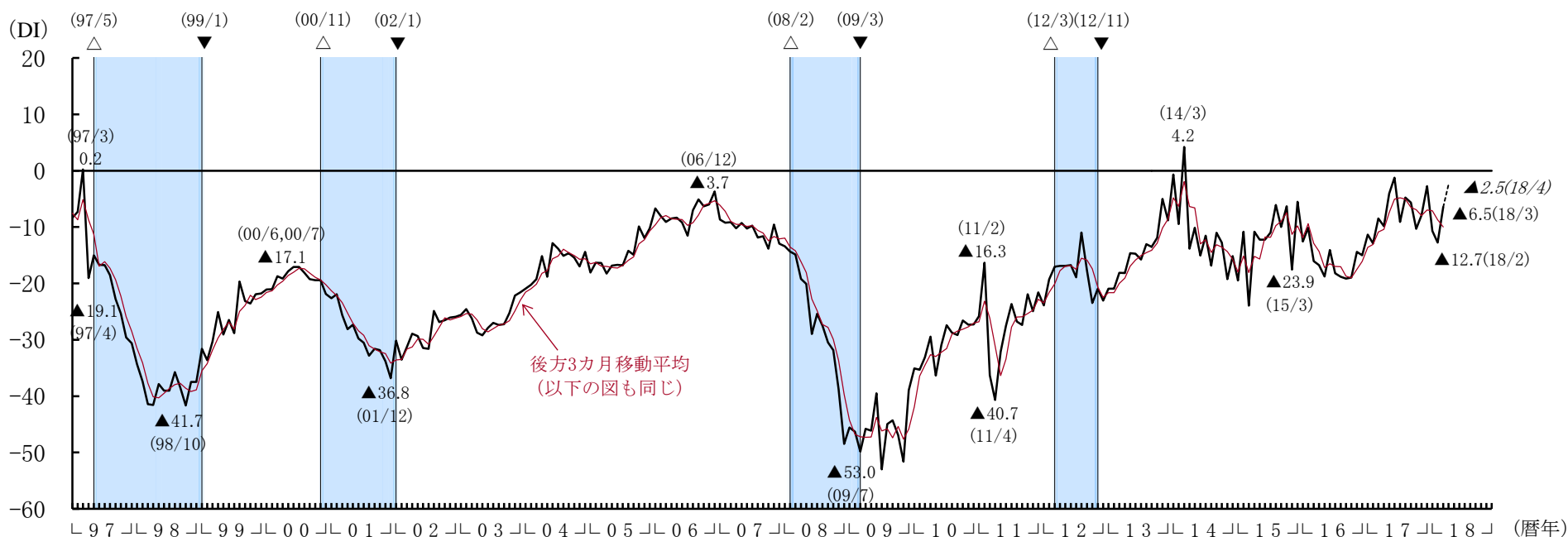
※総務省「経済センサス」における業種および地域構成に合うように、  
データにウェイトづけを行っている。

# 1 売上

- 3月の売上DIは、2月からマイナス幅が6.2ポイント縮小し、▲6.5となった。4月は、▲2.5とマイナス幅がさらに縮小する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲21.1→▲9.0)、非製造業(▲13.1→▲5.7)ともにマイナス幅が縮小した。4月は、製造業で▲8.2、非製造業で▲0.9と、ともにマイナス幅がさらに縮小する見通しとなっている。
- 非製造業では、小売業、飲食店、サービス業で上昇している。4月は、飲食店とサービス業を除く全ての業種で上昇する見通しとなっている。

図-1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

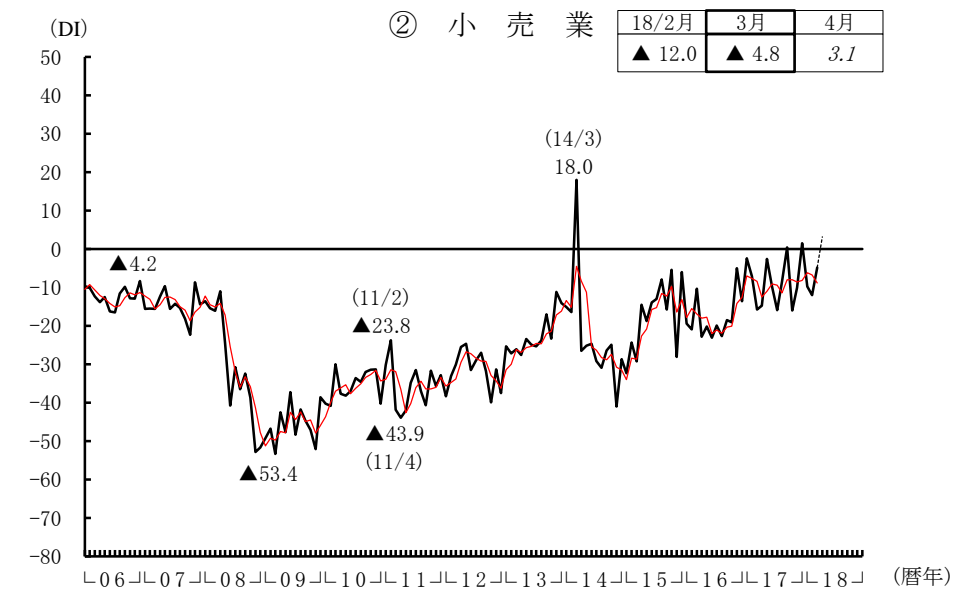
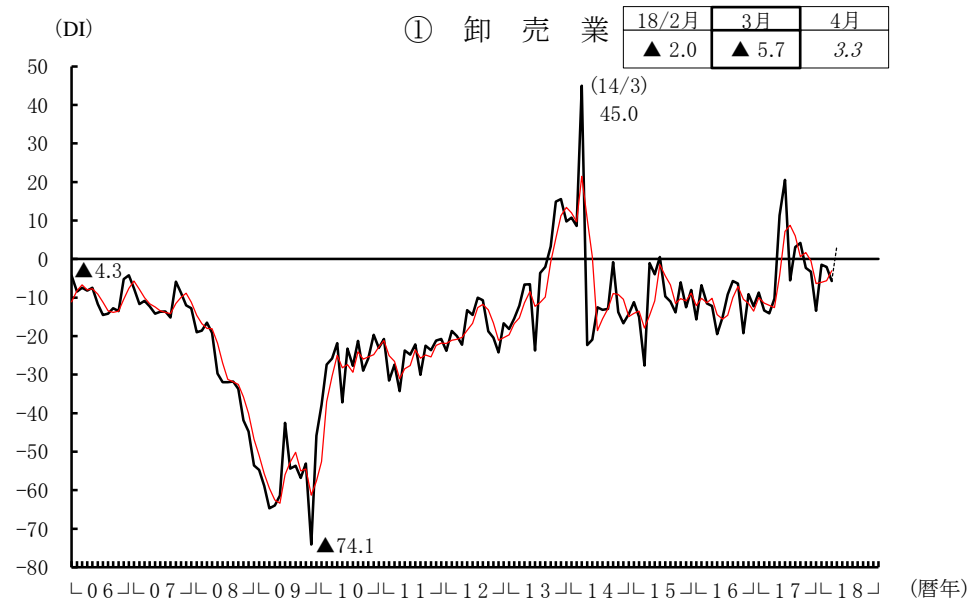
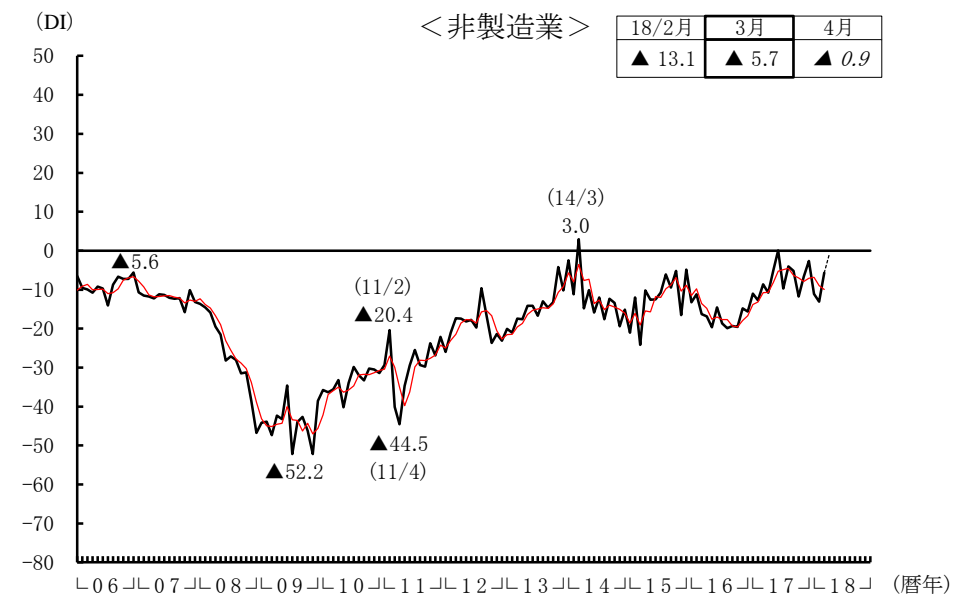
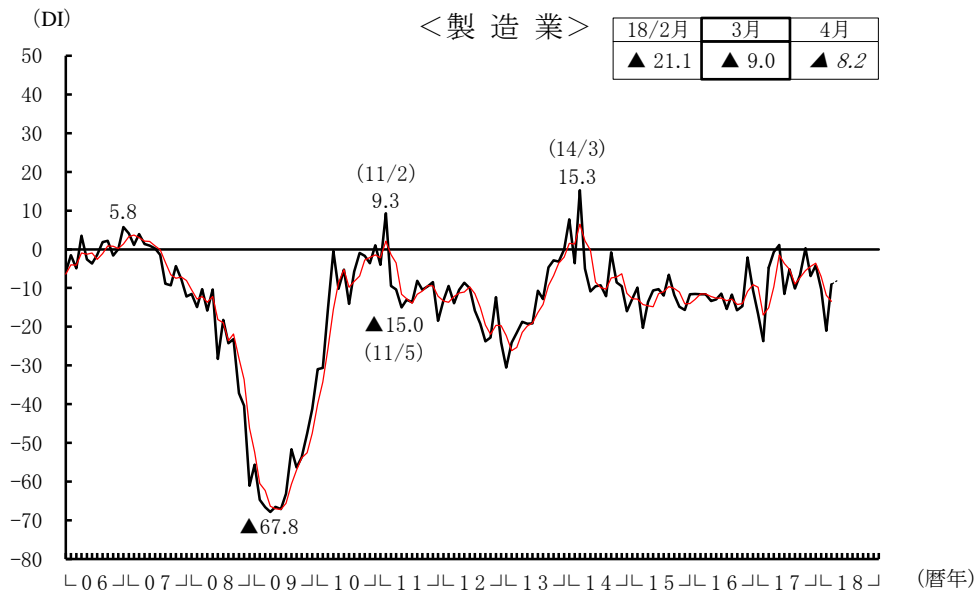
	2017/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018/1月	2月	3月	4月
実績	▲ 8.5	▲ 9.8	▲ 4.1	▲ 1.3	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 5.7	▲ 10.3	▲ 7.9	▲ 2.7	▲ 10.7	▲ 12.7	▲ 6.5	-
見通し	▲ 6.8	▲ 3.0	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 2.2	▲ 1.6	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 1.7	0.2	0.4	▲ 4.1	▲ 2.5



(注) 1 DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図－２ 業種別売上DIの推移（季節調整値）



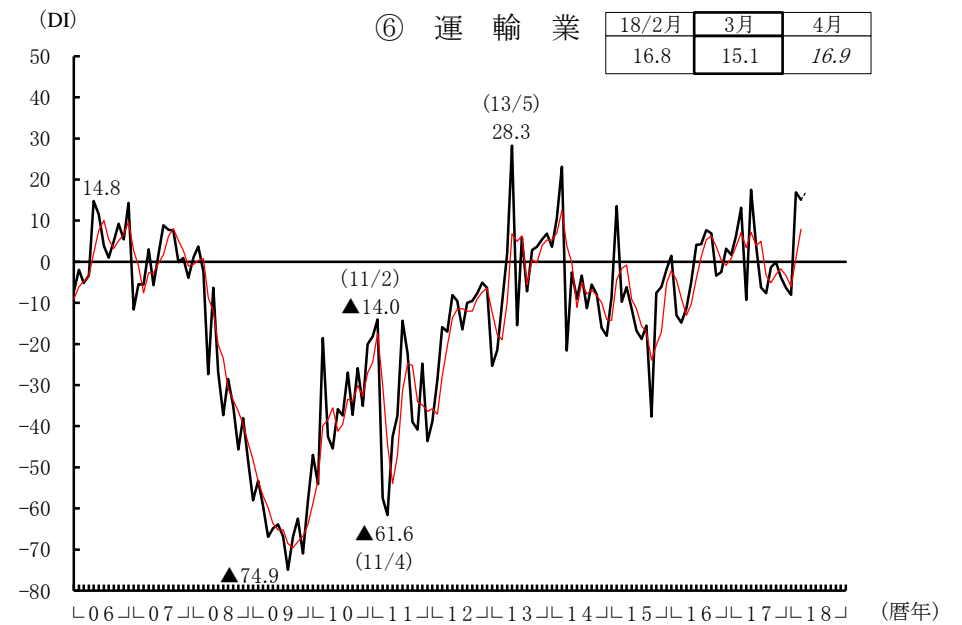
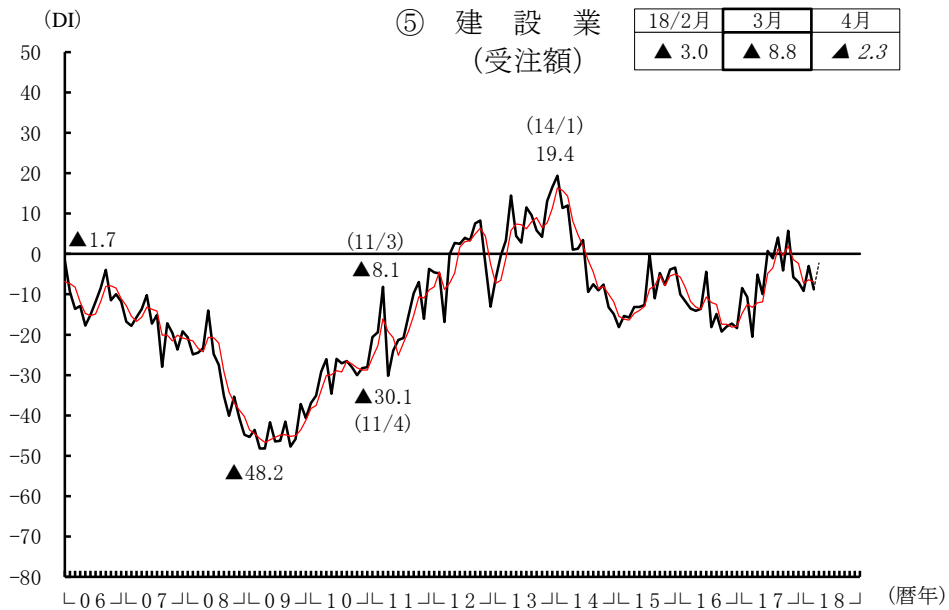
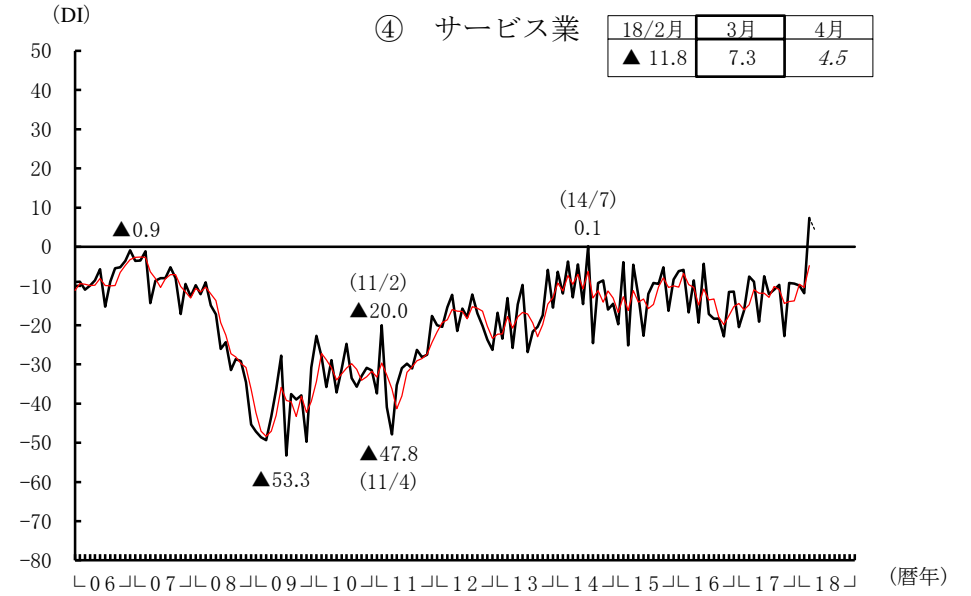
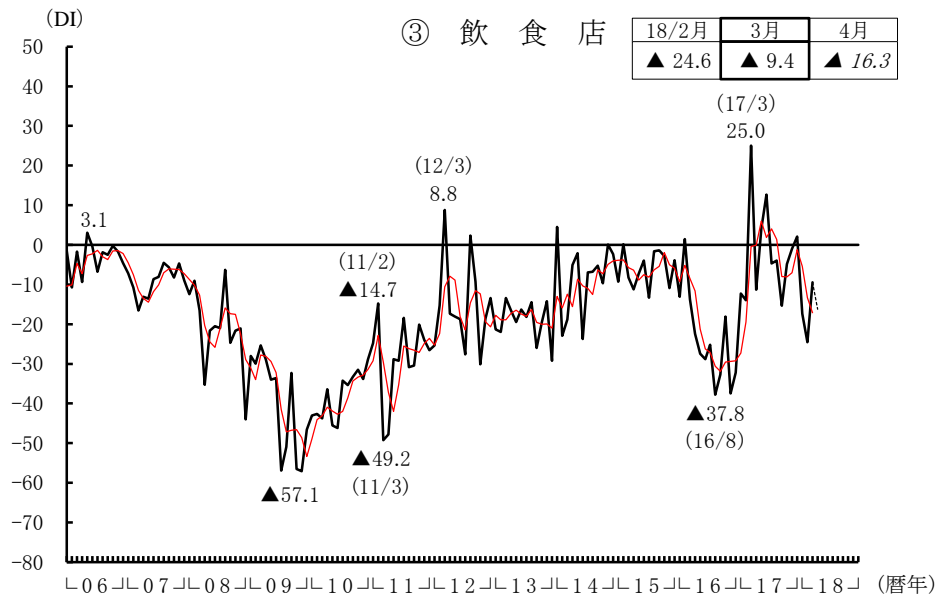


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

(見通し)

	2016年 10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	
製造業	▲14.6	▲2.1	▲10.6	▲16.8	▲23.7	▲4.7	▲0.7	1.2	▲11.5	▲5.2	▲10.1	▲6.7	0.3	▲6.9	▲4.2	▲10.3	▲21.1	▲9.0	▲8.2	製造業
金属・機械	▲0.6	▲2.2	11.5	▲10.2	▲9.0	▲2.8	6.6	5.6	▲1.7	▲2.9	▲1.3	1.9	8.3	▲3.0	7.1	▲1.8	▲10.3	▲6.4	▲9.1	金属・機械
その他製造	▲26.0	▲6.5	▲25.4	▲22.4	▲34.8	▲4.9	▲4.3	▲2.8	▲18.2	▲7.4	▲20.3	▲19.4	▲5.8	▲14.3	▲9.8	▲17.4	▲28.8	▲9.7	▲7.4	その他製造
非製造業	▲19.6	▲14.8	▲15.6	▲11.0	▲12.8	▲8.6	▲10.8	▲5.0	0.1	▲9.7	▲4.1	▲5.1	▲11.8	▲6.7	▲2.7	▲11.1	▲13.1	▲5.7	▲0.9	非製造業
①卸売業	▲19.2	▲9.1	▲12.3	▲8.7	▲13.4	▲14.1	▲10.2	11.3	20.6	▲5.5	3.1	4.2	▲2.3	▲3.3	▲13.4	▲1.4	▲2.0	▲5.7	3.3	①卸売業
繊維・衣・食	▲26.8	▲25.0	▲32.8	▲32.0	▲33.8	▲30.2	▲30.5	7.1	9.7	▲8.5	3.9	▲7.1	▲6.1	▲14.6	▲9.4	5.1	▲6.1	▲6.4	▲16.4	繊維・衣・食
機械・建材	▲15.8	▲1.2	4.2	6.1	0.4	1.4	1.9	19.3	28.5	▲4.1	2.0	12.9	▲1.7	1.0	▲14.6	▲6.7	0.3	▲1.1	14.7	機械・建材
②小売業	▲19.1	▲5.0	▲13.6	▲2.4	▲7.1	▲15.8	▲14.8	▲2.6	▲9.8	▲16.0	▲8.5	0.4	▲16.0	▲10.1	1.4	▲9.8	▲12.0	▲4.8	3.1	②小売業
耐久消費財	▲17.9	▲7.3	▲13.1	▲19.7	▲19.1	▲9.0	▲2.6	▲11.5	▲7.8	▲3.4	▲4.1	10.2	▲17.2	▲9.8	3.6	▲5.0	▲15.7	▲19.0	10.1	耐久消費財
非耐久消費財	▲19.6	▲1.3	▲14.8	1.4	▲4.1	▲20.9	▲16.7	▲1.8	▲9.8	▲18.0	▲9.2	▲1.6	▲16.1	▲6.7	▲0.2	▲10.2	▲10.5	▲6.1	3.0	非耐久消費財
③飲食店	▲18.1	▲37.4	▲32.2	▲12.2	▲14.0	25.0	▲11.3	4.1	12.7	▲4.7	▲3.9	▲15.3	▲4.9	▲1.0	2.1	▲17.4	▲24.6	▲9.4	▲16.3	③飲食店
④サービス業	▲22.8	▲11.5	▲11.4	▲20.5	▲16.3	▲7.6	▲8.9	▲19.1	▲7.5	▲12.1	▲10.9	▲9.8	▲22.8	▲9.3	▲9.4	▲9.9	▲11.8	7.3	4.5	④サービス業
事業所向け	▲10.7	▲0.2	▲17.6	▲18.1	▲13.1	▲11.2	▲13.1	▲7.4	▲6.4	▲17.3	▲6.1	▲17.9	▲12.4	▲3.3	4.4	6.3	▲0.7	▲7.2	1.9	事業所向け
個人向け	▲27.3	▲15.0	▲10.6	▲22.1	▲14.3	▲7.3	▲9.1	▲23.6	▲6.4	▲8.3	▲11.6	▲8.5	▲26.9	▲11.1	▲14.8	▲15.9	▲12.2	11.0	5.0	個人向け
⑤建設業	▲18.0	▲17.3	▲18.4	▲8.4	▲10.7	▲20.5	▲5.1	▲9.9	0.7	▲1.0	4.1	▲4.1	5.7	▲5.8	▲6.9	▲9.2	▲3.0	▲8.8	▲2.3	⑤建設業
⑥運輸業	▲3.4	▲2.5	3.2	1.7	6.3	13.2	▲9.3	17.5	3.7	▲6.2	▲7.6	▲1.3	▲0.1	▲3.7	▲6.3	▲8.1	16.8	15.1	16.9	⑥運輸業
道路貨物	3.2	▲3.3	5.2	1.5	4.2	14.9	▲8.2	19.5	6.9	▲4.6	▲2.5	0.5	▲1.1	▲4.4	▲7.3	▲3.8	19.5	19.4	20.9	道路貨物
個人タクシー	▲36.6	▲7.2	▲4.9	▲3.0	11.5	7.2	▲3.5	8.8	▲4.9	▲10.3	▲34.3	▲0.3	▲3.7	▲11.0	▲2.4	▲36.7	0.2	▲1.2	2.0	個人タクシー
全業種計	▲18.9	▲14.4	▲15.0	▲11.3	▲12.9	▲8.5	▲9.8	▲4.1	▲1.3	▲9.1	▲4.8	▲5.7	▲10.3	▲7.9	▲2.7	▲10.7	▲12.7	▲6.5	▲2.5	全業種計

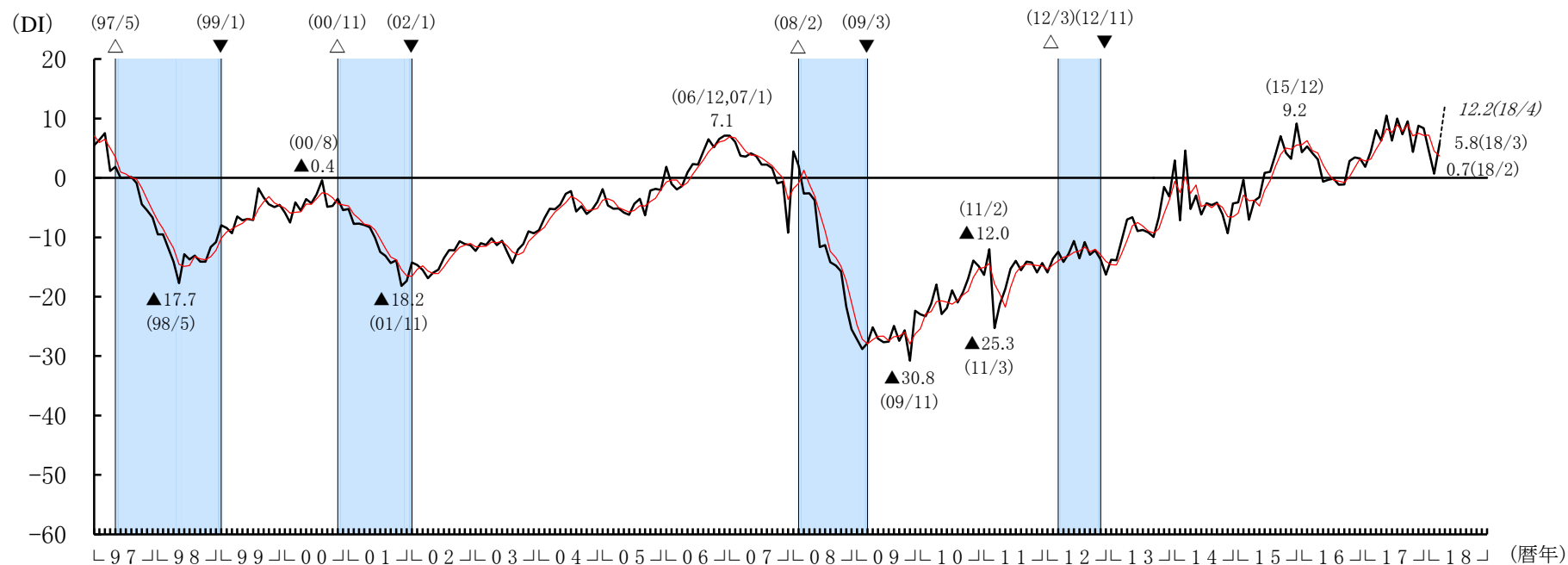
(注) 1 網掛けは、前月から低下した数値。  
2 季節調整は業種ごとに行っている。

## 2 採算

- 3月の採算DIは、2月から5.1ポイント上昇し、5.8となった。
- 4月の採算DIは、12.2とさらに上昇する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2017/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018/1月	2月	3月	4月
実績	8.1	6.3	10.5	6.3	10.0	7.3	9.5	4.4	8.8	8.4	4.5	0.7	5.8	-
見通し	7.6	6.2	8.8	8.1	11.8	12.2	13.0	8.1	13.6	12.3	14.3	12.5	8.1	12.2



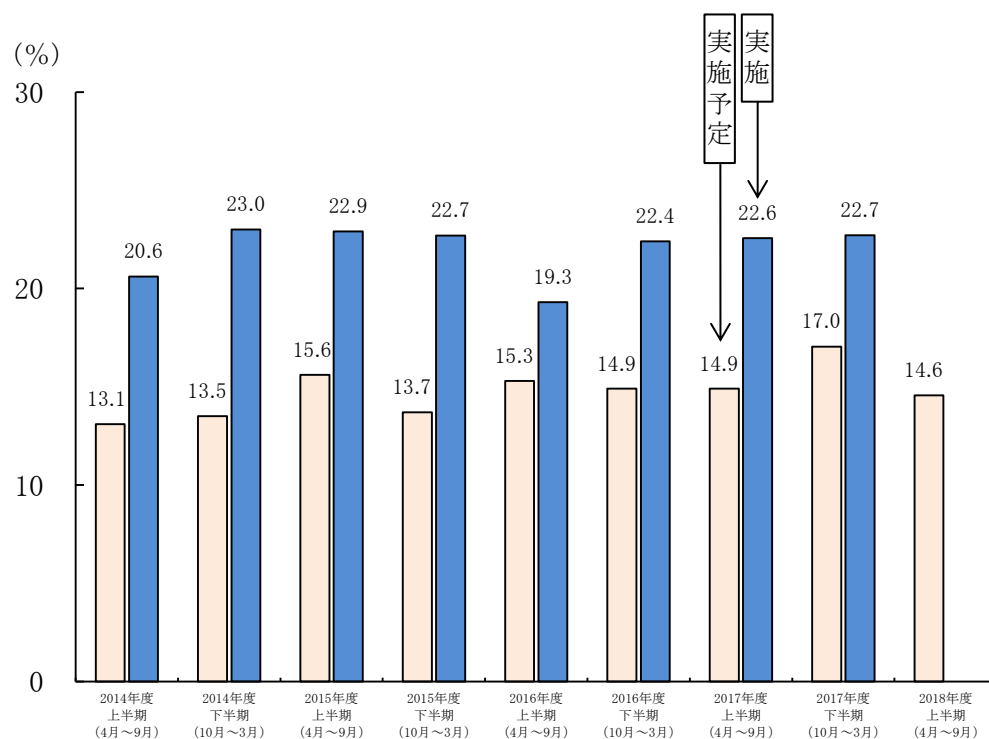
(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

### 3 設備投資

- 2017年度下半期に設備投資を実施した企業割合は、22.7%と2016年度下半期に比べて0.3ポイント上昇した。2018年度上半期の設備投資実施予定企業割合は、14.6%と2017年度上半期の実施予定企業割合に比べて0.3ポイント低下している。
- 設備投資を「実施した」と回答した企業にその取得目的を尋ねたところ、「更新、補修・維持」が65.3%と最も多く、次に「省力化・合理化」が17.7%となっている。

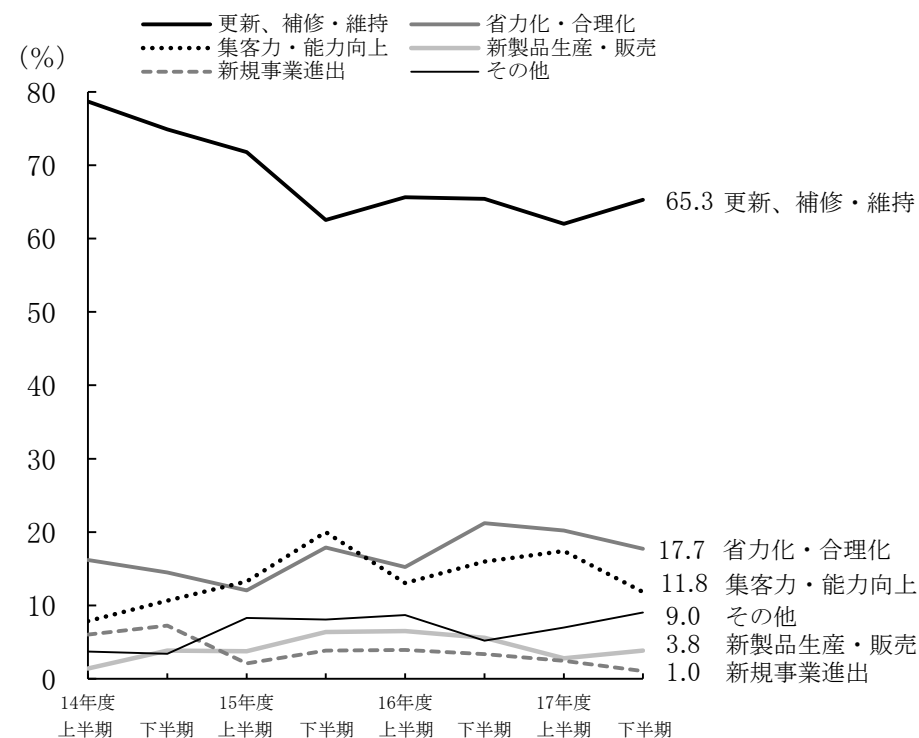
図－4 設備投資実施企業割合と取得目的

(1) 設備投資実施企業割合



(注) 設備投資はリースも含む。

(2) 設備の取得目的 (複数回答)



(注) 1 (1) で設備投資を「実施した」と回答した企業に尋ねたもの。  
2 複数回答のため合計は100%とはならない。